

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	※教科書名
50 大修館	CIII 709	PANORAMA English Communication 3

編集の趣旨

1. 編修上特に意を用いた点や特色

(1) 4技能5領域を一体的に育成する。

- ・ 日常のおよび社会的な話題について、聞いたこと・読んだことの要点をつかみ、話し手・書き手の意図を把握することができるように、要約などの内容確認問題を充実させ、またリテリングで情報を整理する活動や、聞き・読んだ内容、テーマについて自分はどうか考えるか・どう思うかを発表させる、書かせる、生徒同士で話し合わせるなどの活動を盛り込んだ。
- ・ 5つのアイコン（聞く、読む、話す、やり取りする、書くポーズを取るカモメのイラスト）を活動に添えることで、そのコーナーで何の技能を主に使うのかが一目でわかるように工夫し、5領域のバランスの取れた構成をこころがけた。
- ・ I・IIよりも社会的な題材を増やしたが、生徒が自分のこととして考え発信していけるような身近で話題性のある題材を多く取り上げた。

(2) これまでの学習内容を踏まえながらより自律的に学習できる教科書。

- ・ 各レッスンの本文総語数は英語コミュニケーションIIから無理なく移行して増えていくように心掛け、Lesson 1の700語程度からゆるやかに増えていくよう配慮した。また、新語の出現率が高くなりすぎないように配慮した。
- ・ 文法事項・文構造については、I・IIで学習した事項を踏まえて言語活動ができるようこころがけた。前半のUnit 1ではIIで学習した文法が出てきた時には再度おさらい・確認ができるように「グラマーリサイクル」マークを施した。また、それを話す活動で活用ができるように、巻末に「文法を使って話してみよう」というコーナーを設けた。
- ・ 自律性を高めるため、選択肢や会話のモデル、注など言語活動の支援は最小限にとどめたが、実際に言語活動をするのにハードルが高くなりすぎないよう必要な足がかりは与えるように工夫した。
- ・ 高校3年間の授業での英語にとどまることなく、卒業後も英語を使っていくことを意識させるコラムを冒頭に置いた。

(3) 指導しやすく、学習しやすい教科書。

- ・ 前半のUnit 1では1レッスンを3パートに分け、IIまでの見開き2ページ構成でのスタイルを保ちながら学習できるようにした。
- ・ Unit 2では見開き構成を取ってはいるが、一気に1レッスン分の本文を読むこともでき、また3つに区切って要所所で内容の確認をしたり話す活動を取り入れたりすることができる構成とした。
- ・ 写真やイラスト、図表を多く配置し、視覚的な要素も内容理解を補うために使えるよう工夫した。

■各レッスンの構成■

●Unit 1

1. レッソンの導入ページ（見開き2ページ）


【左ページ】 写真を見ながら、今から学習するテーマに関わるQuestionについて考える。

【右ページ】

- ・Goals & Activities：そのレッスンでどのようなことを学び、どのようなことができるようになるのかを知る。
- ・Warm-up：レッスンに関連したテーマについての会話を聞く。左ページの写真について描写説明する。レッスンのテーマについてペアでやり取りし考えを伝え合う。

2. 本文ページ（1パート2ページ見開き）

【左～右ページ】

- ・本文：英文は現代の標準的な英語を基調とし、ほとんどの教材はネイティブ・スピーカーが書き下ろした。IIの教科書で学んだ文法のおさらいをする文法事項には「グラマーリサイクル」マーク（)をつけることで、スパイラルに文法事項を学べるようにした。内容理解の確認として、3つの文章を聞いて本文の内容に合う1文を選ぶリスニング問題を用意した。なおQRコードから本文の音声を聞くことができる。
- ・傍注：新出単語と重要フレーズを掲載した。なおQRコードから新出単語の音声を聞くことができ、フラッシュカードを使用することができる。
- ・脚注：新出の固有名詞と意味を取るのに注意が必要な語句を掲載するほか、英文を理解する上で注意したいリーディングストラテジーについてのQ、発音で留意したい点を示した。

【右ページ下】

- ・Key Ideas：本文のポイントを尋ねる3つの質問に答えることで内容理解を確認する。
- ・The Gist：本文の要約文を穴埋めで完成させることで内容理解を確認する。選択肢は2つの錯乱肢を含めることで負荷を上げた。
- ・Think and Talk：本文のテーマについてペアでやり取りし、考えを伝え合う。

3. 各レッスン末（4ページ）

【1ページ目】

- ・Comprehension Check A：True or Falseのリスニングで、本文の内容理解を確認する。
- ・Comprehension Check B：1. グラフィック・オーガナイザーで本文の内容を整理する。
2. 1. をもとに、写真などを見ながらリテリングをする。

【2ページ目】

- ・Share Your Thoughts：本文のテーマに関する質問に答える形で英文を書く。さらにパートナーとその考えをシェアし合う。
- ・Language in Action：言語材料を使うドリルで定着を図る。

①新出単語を使った練習問題

②重要語句を使った練習問題

【3-4ページ目】

- ・Next Step：そのレッスンのターゲットタスクとして、本文のテーマに関連した内容で、まずリスニングをし、さらに4技能5領域のいずれかにフォーカスを当てたタスクで言語活動を行う。

【4ページ目】

- ・Check Your Progress：Goals & Activitiesで目標としたことができるようになったか生徒が自分でチェックする。

●Unit 2

1. レッソンの導入ページ（見開き 2 ページ）

【左ページ】 写真を見ながら、今から学習するテーマに関わるQuestionについて考える。

【右ページ】

- ・Goals & Activities：そのレッスンでどのようなことを学び、どのようなことができるようになるのかを知る。
- ・Warm-up：レッスンに関連したテーマについての会話を聞く。左ページの写真についてペアでやり取りし考えを伝え合う。

2. 本文ページ（6 ページ）

【左～右ページ】

- ・本文：英文は現代の標準的な英語を基調とし、ほとんどの教材はネイティブ・スピーカーが書き下ろした。6 ページにわたる英文を一気に読むこともできるし、3つに区切ってその都度内容理解のリスニングやテーマに関するやり取りの活動を行うこともできるようにした。なおQRコードから本文の音声を聞くことができる。
- ・脚注：新出単語、重要フレーズ、注、英文を理解する上で注意したいリーディングストラテジーについてのQ、発音で留意したい点を示した。なおQRコードから新出単語の音声を聞くことができ、フラッシュカードを使用することができる。

【右ページ下】

- ・内容理解の確認として、3つの文章を聞いて本文の内容に合う1文を選ぶリスニング問題を用意した。
- ・Key Ideas：本文のポイントを尋ねる3つの質問に答えることで内容理解を確認する。
- ・Think and Talk：本文のテーマについてペアでやり取りし、考えを伝え合う。

3. 各レッスン末（4 ページ）

【1 ページ目】

- ・Comprehension Check A：True or Falseのリスニングで、本文の内容理解を確認する。
- ・Comprehension Check B：本文の内容理解を3択問題で確認する。
- ・Comprehension Check C：本文の内容理解を要約英文への空所補充で確認する。

【2 ページ目】

- ・Language in Action：言語材料を使うドリルで定着を図る。

①新出単語を使った練習問題

②重要語句を使った練習問題

- ・Share Your Thoughts：本文のテーマに関する質問に答える形で英文を書く。書いた内容をもとに発表する。

【3-4 ページ目】

- ・Next Step：そのレッスンのターゲットタスクとして、本文のテーマに関連した内容で、まずリスニングをし、さらに4技能5領域のいずれかにフォーカスを当てたタスクで言語活動を行う。

【4 ページ目】

- ・Check Your Progress：Goals & Activitiesで目標としたことができるようになったか生徒が自分でチェックする。

4. Supplementary Reading：補充的読み物教材を用意した。

5. 見返し、コラム、付録類：

- ・教科書冒頭に、「Using English in Everyday Life」で、高校を卒業してからも英語を使っていくことを意識させるためのコラムを設けた。
- ・巻末に「学習した文法を使って話してみよう」を設け、Unit 1でリサイクルマークを施した文法事項を実際に使って「話すこと [やり取り]」を行えるようにした。